

7 数理・データサイエンス・AI 教育応用基礎レベルプログラムについて

理工学部において開講されている下記の科目を履修することにより、応用基礎レベルプログラム修得ができます。数理・データサイエンス・AI 教育応用基礎レベルは、理系を卒業する学生に必須とされている教育内容であり、このプログラムを修得することによって実社会における自身のスキルを高めることができます。共通教育で開設されているリテラシーレベル数理・データサイエンス教育プログラムの履修は特に必要とはしません。

応用基礎レベルのプログラムの修了認定を受けるためには、「1. データ表現とアルゴリズム」、「2. データサイエンス基礎」、「3. データサイエンス実践」の3つの項目に対応した科目を単位修得が条件となります。

履修する必要のある科目は以下の表に列記した4科目ですが、表の下の注釈に示すように各学科・コースによって履修可能な科目が異なりますので、注意してください。なお、対象者は令和5年度以降入学生です。

プログラムで身につける内容		対応する授業科目	プログラム修了条件
1. データ処理に関する知識である 数学基礎	微分積分学	微分積分学基礎 ⁽¹⁾ 、微分積分学通論 ⁽²⁾ 、一変数の微分積分 ⁽³⁾	1科目以上を修得
	線形代数学	理工系線形代数学 ⁽¹⁾ 、線形代数学Ⅰ ⁽³⁾	1科目以上を修得
	統計数理	確率・統計学概論 ⁽¹⁾ 、確率統論 ⁽³⁾	1科目以上を修得
2. AIを実現するための手段及びデータサイエンス基礎 3. データサイエンス実践		データサイエンス基礎	必修

(1) 数学物理学科数学コースを除く全ての学科・コース対象

(2) 生物科学科、化学生命理工学科、地球環境防災学科対象

(3) 数学物理学科数学コースのみ対象